

- ・平成23（2011）年11月9日（水）～11月10日（木）
- ・参加者 89名（園職員2名を含む）
- ・集合時間 午前7時45分（出発8時00分）
- ・集合場所 日本民家園前
- ・行程 1日目

日本民家園 → 中央高速 → 馬場家住宅 → 薬師平菡宿（昼食）→ 伊那部宿（三澤家・旧井澤家） → ホテル

2日目

ホテル → 駒ヶ根（旧竹村家・光前寺） → みはらしファーム（昼食・リンゴ狩り）→ 奈良井宿 → 中央高速 → 日本民家園

概要

民家園に集合し、朝早く伊那部宿に向かう。途中塩尻ICで高速を降り、「雀おどし」と呼ばれる独特の棟飾りを持つ「馬場家住宅」（重文）に向かう。馬場家の伝承では、先祖は武田信玄の家臣・馬場美濃守信春の縁者とされ、藩主を家に迎える為の部屋を持つ等、諏訪高島藩と親密な関係を持つ特別な地位にあったとされる。

（↓本棟造りの馬場家住宅）



馬場家を辞し、昼食後、伊那部宿の三澤家に向かい約40年前に民家園に移築された跡地（現在は新居）を見学する。現地では、ご当主三澤良信氏、訓子氏の出迎えを受け説明を受ける。また、伊那部宿の案内を「伊那部宿を考える会」の会長である森氏が実施してくれた。



炉端の会の吉沢会長は「思っていた通り、裏山まで続く立派な家だった。伊那部宿も古い家が残っていて、非常に良い。民家園でガイドする際にこういうところだった、と伝えていきたい」と

地元紙の取材に答えた。

また、伊那部宿の南の端にある、「旧井澤家」も見学した。この家は天保11年・14年の大火にただ一軒だけまぬがれた伊那部宿では最古の建物である。

以下は同家前での記念写真



二日目はホテルを出発した後、駒ヶ根市郷土館中にある旧竹村家（重文）に向かった。



その後、光前寺に向かう。光前寺は、「光苔」でも有名であるが、残念ながら訪れた日はシーズンを外れていた。



その後、見晴らしファームでの昼食を取りリンゴ狩りを楽しむ。美味しいリンゴの見分け方を教えてもらい、その通りだと感激する。

次に、最後の訪問地である奈良井の宿を訪ね、古い宿場町の雰囲気を楽しみ、民家園に帰る。

以下は、奈良井の宿・木曾大橋での集合写真である。



(編集委員 10期 土曜 水野)